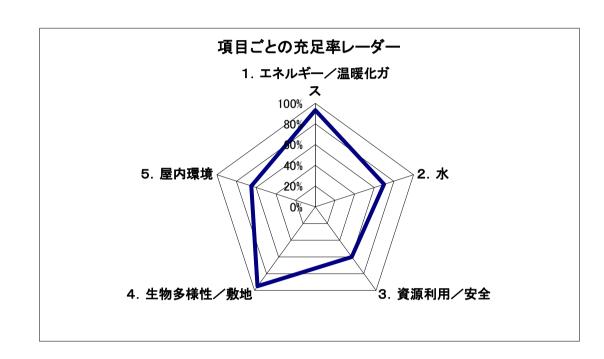
集合住宅評価結果 CBL-CAS不動産-0320-25.xlsx

	<b>住宅</b> 】
建物概要       建物名称     プライムメゾン三田綱町     敷地面積       建設地     東京都港区三田2丁目1番41号     建築面積	807 m <sup>2</sup> 評価の段階 運用段階評価 467 m <sup>2</sup> 評価の実施日 2025年7月14日
	2,184 m <sup>2</sup> 作成者 高岸 佑季 不動産評価員番号 ふ-001427-28
竣工年月 2017年10月13日 構造 RC造 直近の大規模改修実施年月 平均居住人員	確認日 2025年7月14日 人 確認者 東 晃司
年間使用時間 年間使用時間 中間使用時間 中間使用時間 中間	時間/年 不動産評価員番号 ふ-001011-26
(得点 / 満点)	アライフカーボンの評価 評価しない
S ランク; ★★★★★ ≧ 78 A ランク; ★★★★ ≧ 66 B+ランク; ★★★ ≧ 60 取組 <sup>1</sup>	項目数:A1-A5 B1,B3-B5
B ランク; ★★★ ≦ 60	B6-B6 C1-C4
1. エネルギー/温暖化ガス         評価       最大加点	指標 (*は参考値) 評価値
適合必須項目:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運動加点 1根拠等省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング実施、	用管理体制
管理体制構築 20.0 20 / 15 1.1 使用・排出原単位(計算値)	
根拠等 BEI=0.69 再エネ電力の契約によりCO2排出量はOkg-CO2/㎡・年 ガス利用無し	一次エネルギー(計画値)     308.5     MJ/m²・年       二次エネルギー(*)     31.6     kWh/m²・年       GHG排出量(*)     0.0     kg-CO <sub>2ea</sub> /m²・4
5.0 <b>1.2 使用 • 排出原単位(実績値)</b> 共用部の根拠等	
実績値から算出	二次エネルギー(*)     31.6     kWh/m²・年       GHG排出量(*)     0.0     kg-CO <sub>2eq</sub> /m²・4
-/5       1.3 省エネルギー(仕様評価)       専有部の省エネ         根拠等       1-1をBEIにて評価のため本項目は評価対象外	・対策 導入された対策項目数 項目
3.0 5 <b>1.4 自然エネルギー(間接利用)</b> 根拠等 導入無	利用率 0.0 %
評価 最大加点 適合 <b>必須項目</b> :目標設定、モニタリング、運用管理体制 根拠等 目標設定、モニタリング実施、運用管理体制の構築	指標 評価値
0   2.1 水使用量(計算値) 評価し   4.0   5   2.2 水使用量(仕様評価)	水便用重(目標値) <u>157.0 </u> L/m <sup>2</sup> ・年 しない 
根拠等 ①泡沫水栓②節水型便器③節湯器具 3.0 5 <b>2.3 水使用量(実績値)</b>	取組数 3 項目
根拠等 実績値から算出  7.0 10 合計	水使用量(実績値) 157.0 L/m <sup>2</sup> ·年
3. 資源利用/安全 評価 最大加点	指標評価値
適合必須項目;新耐震基準への適合またはIs値、If値根拠等新耐震基準への適合3.053.1 高耐震・免震等3.1.1と3.1.2の点数の高い方で	で評価
3.0       3.1.1 耐震性         根拠等       建築基準法に定められた耐震性を有する	
3.0 3.1.2 免震·制震·制振性能 根拠等	## Z
3.3 5 3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制 3.2.1と3.2.2の平均で評価 3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価 3.0 ① 躯体材料 導入無	
4.0② 非構造材料ビニル床材 断熱材3.03.2.2 廃棄物処理負荷抑制	リサイクル材品目数(非構造材) 2 品目
加点 1根拠等①ストックスペース②分別回収容器⑥ポスター教育3.053.3 躯体材料の耐用年数根拠等建築基準法に定める対策が講じられている	取組数   3     経過年数+今後の想定耐用年数
根拠等 (建業基準法に定める対策が講じられている) 2.8 3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理/バリアフ 3.0 3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	
根拠等 <mark>空調15年</mark>	更新年数の平均値 15 年
根拠等 ③通信途絶対策  2.0  3.4.3 維持管理  根拠等 ①頻度⑤実施	自給率向上の取組数    1      維持管理に関する取組数    4
4.0       3.4.4 バリアフリー対策         根拠等       建築物移動等円滑化基準を満たしている	
12.0   20   合計 4. 生物多様性/敷地	
評価 最大加点 。	
根拠等 自ら導入していない 10.0 10 4.1 生物多様性の向上 [4.2対象外の時は点数を倍] 根拠等 ②生態空間創出 ③自然植生配慮 ⑤生物資源管理	2取組表による場合のポイント数 3 ポイント
[4.2対象外の時は点数を倍]根拠等②生態空間創出③自然植生配慮⑤生物資源管理0.004.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生[対策不要は対象外]根拠等該当しない	②取組表による場合のポイント数 3 ポイント
5.0 <b>5.0 4.3 公共交通機関の接近性</b> 5.0 4.3.1 公共交通機関の接近性	
根拠等 麻布十番駅から徒歩7分 4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮 評価し 4.0 5 <b>4.4 自然災害リスク対策</b>	鉄道駅またはバス停からの距離 7
根拠等 リスク有: ②液状化 ④地震動 対策有: ②液状化 ④地震動	リスクの合計数 2 種類
19.0 <b>20 合計 5. 屋内環境</b>	
評価 最大加点 <u>適合 必須項目 ;建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合 まま物質</u>	指標 評価値
根拠等 質問表への適合 5.1 <b>自然利用</b>	なし
1.0     3       5.1.1 昼光利用     5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数・1.0       5.1.1 自然採光	×1/3
根拠等 タイプE,F(多い順の2パターン)で計算 1.0 5.1.1.2 昼光利用設備	開口率 23.6 %
根拠等 導入無  1.0 3 5.1.2 通風・排熱	
根拠等 自然換気開口 2.0 3 <b>眺望・ゆとり</b> 根拠等 天井高2.4m以上かつ窓有り	
根拠等 <u>人 弁局 2.4 III 久 上 が り 恐有 り</u> 5.2 健康・快適  2.0 2 5.2.1 暑さ・寒さ	
根拠等レベル2を満たす 2.0 2 5.2.2 主要な居室の冷房・暖房	
根拠等 LD等へ冷暖房装置実装 2.0 2 5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気 根拠等 化学汚染物質を抑える建材を用いている	
根拠等 化学汚染物質を抑える建材を用いている  1.0 2 5.2.4 騒音・遮音 根拠等 レベル2を満たさない	
2.0       3         根拠等       集合玄関機、ITVカメラ監視	
13.0 20 合計 6. ホールライフカーボンの評価 [任意]	
評価 最大(加点なし)	指標   評価値     取組数 A1-A5   項目     B6-B7   項目
、 II IM C U-C で pp pd 10 本 IM	B1,B3-B5 C1-C4 項目

プライムメゾン三田綱町



## 環境性能の特徴

・高効率空調機を採用しており、省エネルギー性が高い ・自生種を植栽するなど生物多様性への取組が実施されている ・公共交通機関に近接しておりアクセス良好 ・BEI値が低く、設備・躯体の省エネ設計が確認できる